ピースV1







有限会社 オズシステム



ポイント顧客分析: R F M 分析 ··································
RFM:分析とは
手順1:抽出条件の設定
手順2:購買日付詳細指定 ····································
手順3:RFM分析パラメータ ····································
手順4:参考:上部抽出条件での各値2
手順5: RFM分析でのグループ分け
手順6:出力物の選択4
ポイント顧客分析:デシル分析
デシル:分析とは
手順1:抽出条件の設定
手順2:参考:上部抽出条件での各値6
手順3:購買日付詳細指定 ················6
手順4:出力物の選択
購買日付詳細指定の例
出力するExcelブック名
分析結果の利用:分析結果からのメール準備 ····································
保守

ポイント顧客分析:RFM分析

system Proce of OXPENDID ORM-STA of a text ((E+E))		Ozsystem Peace v1(KKRFP801) CRW-STA id = USER (保守可)
■ ##27#14 #f()+■客管#12#14 ピース 分析パック		ポイント顧客分析(RFM分析)
	ポイント顧客分析 RFM分析 デシル分析 分析結果の利用 分析結果からDM準備 分析結果からメール準備	抽出条件 最終来店日 前8ヵ月 前1年 前2年 前10年 1998年07月01日 ▼ 2008年07月16日 ▼ 設定 前条件に戻す DM設定から取得 メール設定から取得 上記の後日付に 54 → * カ月後の 日付設定 ボイント情報 :最終来店日 指定(かつ) 1988年07月01日~2008年07月 通常は来店日の範囲指定の設定すが、たらはた性やけいためはくごやかおた行いたい場合等はは親冬低た設定できます 通常はまた日の範囲指定の設定すが、たらはた性やけいためはくごやおた行いたい場合等はは親冬低た設定できます 1
	保守 分替から少点新研究の実 通信マニュアルの表示 #www.set/2001.mt / set / s	開買日付詳細指定 副第 □ 購買日付詳細指定をする 1998年07月01日 ■ 2008年07月16日 ■ 副33月 前6ヵ月 前1年 前2年 前10年 □ 最終来店日を購買詳細日付範囲の日付とする。 ■ ③売り 前5ヵ月 前1年 前2年 前10年 □ 最終来店日を購買詳細日付範囲の日付とする。 ◎売者: 上部抽出条件での各値
lao:前面面		ランク5 ランク4 ランク3 ランク2 ランク1 基準日 R 30 日以内 60 白以内 90 57,058 180 日以内 180 日以内 60 自以内 60 110 180 日以内 180 日 2008年07月16日 10 最小勝買額 3,142,662 F 50 回以上 30 10 52,058 2 52,058 2 回上 10 第2,058,8 2 180 日 180 日 180 日 180 180 日 180 日 180
		M 100 万以上 50 50.05未満 20 50.05未満 10 万水満 サングル設定 データ数 2,727 R(recency: 歳終来店日時) F(frequency: 利用回数) M(monetary: 累計購買額) 「使利画面」 データ数 2,727 EPIM分却でのグループ分け - - (monetary: 累計購買額) 「使利画面」 「客価を得る」
		R1 R3 F3 F4 F3 F5 F4 F3 F2 F1 R3 R3 F5 F4 F3 F2 F1 R4 F5 F4 F3 F2 F1 F4 F3 F2 F4 F3 F3 F3 F3 F3 F3 F3 F3 F
		該当部分をクリックするか または Shiftキーを押しながらマウスでなぞって 指定します。
		ESC:メニューへ F12:次画面 2008/08/01 17.16

RFM:分析とは

RFM分析は、お客様のこれまでの行動を下記の3つに分類してランク分けを行い、 拡販のための行動を、コスト・時間・労力を少なく効果的に行うためのものです。

- ・最近買ってくれたお客様
- ・よく買ってくれるお客様
- ・これまでの購入金額の多いお客様

この考え方に基づいた3つの視点を、次のようにR、F、Mという文字で表します。

- R Recency (リセンシィー)・・・・最終来店日 (直近の購入日)
- F Frequency (フリクエンシィー)・・利用回数
- M Monetary(マネタリィー)・・・・購入金額

そして個々のお客様にR、F、Mそれぞれのランク付けを行い、3つのランクの組合せで分類 します。RFM分析は、このような方法でお客様をランク分けして、それぞれのランクに合わ せて、効果的な拡販のための行動を行うためのものです。

本パッケージでは、R, F, Mをそれぞれ5段階のランクに分類し、そのランクの組み合わせでグループ分けする事により、行っています。

手順1:抽出条件の設定

分析パックでは、ピースV1の購買履歴からデータを取得しますが、この取得する範囲を ピースV1と同じ操作の抽出条件の設定にて行います。

====================================		前条件に戻す	DM設定から取得	メール設定から取得
1998年07月01日 - ~ 2008年07月16日 - 上記の後日付に 54 - ヵ月後の 日付設定	ポイント情報 :最終	梁店日 指定	(かつ) 1998年0	7月01日~2008年07月

通常は来店日の範囲指定のみですが、たとえば女性だけに絞り込んで分析を行いたい場合等は詳細条件を設定できます。

抽出条件の設定方法は、ピースのマニュアルを参照

手順2:購買日付詳細指定

通常は指定する必要はありませんが、詳細な日付の範囲を指定したい場合は、下記部分にて 指定を行います。

購買日付詳細指定-

説明 マ 購買日付詳細指定をする	1998年07月01日 - 2008年07月16日 -				16日 🚽	□ 最終来店日を購買詳細日付範囲の日付とする.
	前3ヵ月	前6ヵ月	前1年	前2年	前10年	

詳細はP.7を参照

手順3: RFM分析パラメータ

R、F、Mそれぞれについてランクの範囲を指定します。

	-RFM分析パラメーク	\$\$						
	ランク5	ランク4	ランク3	ランク2	ランク1	基準日		
	R 30 日以内	60 ランク5超 日以内	90 ランク4超 日以内	180 ランク3超 日以内	180 日超	2008年07月16日 💌		
	F 50 回以上	30 ランク5未満 回以上		2 ランク3未満 回以上	2 回未満	最終来店日から設定		
	M 100 FUL	50 ランク5未満 万以上	20 ランク4未満 万以上	10 ランク3未満 10 万以上	10 万未満	サンプル設定		
R(recency:最終来店日時) F(frequency:利用回数) M(monetary:累計購買額)								

基準日

この日付から最終購買日付が何日前かを計算します。 最終来店日以前の日付を指定してください。

最終来店日から設定

最終来店日を基準日に設定します。

サンプル設定

サンプルを設定します。サンプルはこのマニュアルの記載にある値です。

テンプレート

RFM分析パラメータのランクの範囲を保存/読込を行います。 テンプレートについてはピースのマニュアルを参照してください。

便利画面

下記画面で、ランク範囲の指定をマウス操作で行う事ができます。

Ozsyst	em Peace	1 (KKR	FP801) (CRW-STA	id = test	(保守可)								
RFI	vI分析/	ペラメー	ター											
3	ランク5		ランクイ	1	ランク	3	ラン	72	ランク1					
R	30	日以内	60	ランク5超 日以内	90	- ランク4超 日以内	18	0 ランク3超 日以内	180	日超	1up	10up	1Down	10Down
F	50	回以上	30	ランク5未満 回以上	10	ランク4未満 回以上		2 ランク3未満 回以上	2	回未満	1up	10up	1Down	10Down
М	100	万以上	50	ランク5未満 万以上	20	- ランク4未満 万以上		0 ランク3未満 万以上	10	, 万未満	1up	10up	1Down	10Down
R(recency:最終来店日時) F(frequency:利用回数) M(monetary:累計購買額)														
	F12:前画面													

手順4:参考:上部抽出条件での各値

参考:上部抽出条件での各値―								
最小購買額	403							
最大購買額	3,142,662							
購買額累計	2,331,871,087							
平均額累計	855,105							
データ数	2,727							
	各個を得る							

各値を得る

上部抽出条件により抽出されるデータの各値を表示します。 補足:表示されるデータは購買日範囲指定で指定した範囲では ありません。

手順5: RFM分析でのグループ分け



RFM分析パラメータの値によるグループ分けを指定します。 設定するグループを指定し、 該当の枠部分をクリックするか又は Shiftキーを押しながらマウスポインタを 該当の枠の上に動かす事によって指定します。

全て設定

全てを「設定するグループ」で指定したグループにします。

サンプル設定

サンプルを設定します。サンプルはこのマニュアルの記載にある値です。

テンプレート

RFM分析でのグループ分けの各設定の保存/読込を行います。 テンプレートについてはnnを参照してください。

他の視点から



手順6:出力物の選択

最初の画面で、 F12: 次画面 を押すと下記画面が表示されます。

出力物の選択をおこないます。



出力物は、下記のものがあります。(内容は見本を参照してください)

RFM解析パラメータ グループ値 RFM顧客一覧 R 視点人数 R 視点金額 F 視点金数 F 視点人数額 M 視点金数 M 視点金額



Cosystem Peace v1 00KRFM201) ORM-STA id = test 《原守町》	Ozsystem Peace v1 (KKRFR101) CRW-STA id = test (保守可)
120ステムポイント夏季電理システム	11 ポイント顧客分析(デシル分析)
	- 抽出条件
ポイント顧客分析	- 最終来店日
RFM分析	
デシル分析	2008年05月01日 - ~ 2008年08月29日 -
分析結果の利用	
分析結果からDM準備	
分析結果からメール準備	通常は上記来店日の範囲指定のみですが、たとえば女性だけに絞り込んで分析 を行いたい場合等は下記で詳細条件を設定できます。
保守	設定 前条件に戻す DM設定から取得 メール設定から取得
がいていていたいではない。 操作すてニュアルの表示 掛けてニュアルの表示	ポイント情報 最終来店日 指定 (かつ) 2008年05月01日~2008年08月
ReaderのFビアクロパナリーター第000頁です 分析 <mark>11℃クタの出力見本</mark>	DM情報 :DM送付許諾 指定(かつ) 1:許諾 メール情報 :メール送信許諾 指定(かつ) 1:許諾
ピース分析パックについて	
Esc:前画面	
	- 参考: 上部抽出冬件での冬値
	最小購買額
	1998年08月01日 - 2008年08月29日 - 2008年08月29日 -
	前3ヵ月 前6ヵ月 前1年 前2年 前10年
	PIÓ-WETTE
	<u> F12-次画面</u>
	2008/09/18 13:01

デシル:分析とは

デシル分析とは、お客様を購入金額の高い順に10(デシル)等分してその構成比を 算出する分析方法です。売上の上位集中度の観点から、お客様の全体概況を把握する 手法です。対売上高貢献度の高い優良お客様を知ることができるなど、現状把握に有 効で、分析も簡便であることからお客様分析の第1ステップであると考えられていま す。

より詳しくお客様分析を行う場合はRFM分析を利用してください。

手順1:抽出条件の設定

この手順は、RFM分析と同じです。 取得する範囲をピースV1と同じ操作の抽出条件の設定にて行います。

田田和田				
「取除水店口一	前3ヵ月	前6ヵ月 前1年	前2年	: 前10年
	1998年0	7月01日 - ~ 20	08年0	7月24日 -
	上記の後	き日付に 4 → カ	月後の	日付設定
通常は上記来」 を行いたい場合	毎日の範囲指定の ・等は下記で詳細	のみですが、たとえば、 田条件を設定できます。	女性だら	りに絞り込んで分析
設定前	前条件に戻す	DM設定から取得	寻	メール設定から取得
ポイント情報 :最終	冬来店日	指定(かつ)	1998	年07月01日~2008年

抽出条件の設定方法は、ピースのマニュアルを参照

手順2:参考:上部抽出条件での各値

各値を得る を押すと 上部抽出条件により抽出されるデータの各値を表示します。 補足:表示されるデータは購買日範囲指定で指定した範囲では ありません。

「参考:上部抽出	条件での各個				
最小購買額	403	購買額累計	2,643,349,787	データ数	3,000
最大購買額	3,142,662	平均額累計	881,117		「各個を得る」

手順3:購買日付詳細指定

通常は指定する必要はありませんが、詳細な日付の範囲を指定したい場合は、下記部分にて 指定を行います。

┌購買日付詳細指定――

1998年07月01日 • ~ 2008年07月24日 • 前3ヵ月 | 前6ヵ月 | 前1年 | 前2年 | 前10年 |

詳細はP.7を参照

手順4:出力物の選択

最初の画面で、 F12:次画面

説明 マ 購買日付詳細指定をする

を押すと下記画面が表示されます。

出力物の選択をおこないます。

Ozsystem Peace v1 (KKRFR101) CRW-STA id = test	(梁守可)	フッリッター出力先
	ポイント顧客分析(デシル分析)	FIL
□ 出力物の選択		
☑ 分析値	- デシル分析顧客一覧の出力項目/順序	
グラフの種類(右) ● 種類1 ● 種類2 ● 種類1 ● 種類2 ● 種類1 ● 種類2 ● 種類4 ● 種類5 ● 種類4 ● 種類5 ● 種類6 ● 種類6	000:最終購買額 010:現在(累計)ポイント 020:生涯ポイント 040:最終交換ポイント 040:最終発行ポイント 030:最終発行ポイント 050:ランク ○40:最終交換ポイント 050:ランク 金不要 050:ランク 不要 050:ランク ○60:初回来店日 070:性別 080:生年月日 090:年齢層(初回来店時点) 出力 100:指定年齢 出力 110:お名前(決字) 金出力 130:郵便番号 ダブルク 150:住所1 リックでも 150:住所2 指空/解 時できま 180:電話番号1 す。	
	出力順序 • 会員番号順 • デシル値順 出力するデシルグループ 累計購買額 上位10%以内 ▽ デシル1データ 全部チェック 21%~20% ▽ デシル2データ 21%~30% ▽ デシル3データ 31%~40% ▽ デシル4データ 41%~50% ▽ デシル4データ 51%~60% ▽ デシル5データ 51%~60% ▽ デシル6データ 61%~70% ▽ デシル8データ 81%~90% ▽ デシル9データ 91%~ ▽ デシル10データ	
- 出力するExcel ノック名(ノオルタを指定しない咳	新台は C:F に作成されます)	
		19:委照
ESC:前画面	F12:E	xcel出力
2008/09/18 9:28		

出力物は、下記のものがあります。(内容は見本を参照してください)

デシル値

デシル顧客一覧

購買日付詳細指定の例

A氏、B氏来店の購買記録例

A氏								
5/1	/15	7/1 /2	1	10/4 /10	11/1	/2	12/	/20
5月	3	7月	10月		11月			
1 🗄	3 5,000	1日 1,000	4日	1,400	1日	1,000	12月20日	10,000
15日	2,000	2日 2,000	10日	2,000	2日	100		

	1500 5000	5000 8000	900 2200
В氏			
	5/15 /16	7/6 /12	9/10 /12
5月		7月	9月
15日	1,500	6日 5,000	10日 900
16日	5,000	12日 8,000	12日 2,200

抽出条件での最終来店日指定

XXXX年	10月1日~XXXX	年12月30日	ヨ と指定し	た場合	A氏	対象	B氏	対象ではない
A氏								
5/1 5月 1日 15日	/15 5,000 2,000	7月 1日 2日	7/1 /2 1,000 2,000		10月 4日 10日 2	0/4 /10 1, 400 2, 000	11/1 /2 11月 1日 1,0 2日 10	12/20 00 12月20日 10,000 0
В氏								
5月 15日 16日	5/15 /16 1,500 5,000	7月 6日 12日	7/6 /12 5,000 8,000	9/10 /12 9月 10日 900 12日 2,200	B 」 の、 0	氏 はこ で対象外	の間に購買 となる	を行っていない

XXXX年	9月1日~XX	XX年12月30日	と指定し	た場合	AB	氏 対象	E	3氏	対象	
5/1 5月	/15	7月	7/1 /2		10月	10/4 /10) 11/1 11月	/2	1	2/20
1日 15日	5,000 2,000	1日 2日	1,000 2,000		4日 10日	1, 400 2, 000	1日 2日	1,00 100	0 12月20日	3 10,000
₿氏										
5月 15日 16日	5/15 /16 1,500 5,000	7月 6日 12日	7/6 /12 5,000 8,000	9/10 /12 9月 10日 9 12日 2,2	00 00					
				▪ 最終来店日	日が範囲	国内にあ	るので求	す象と	なる。	

購買日付詳細指定(A氏について説明)

・購買日付詳細指定を指定しない場合は、9回の購買が全て対象となります。

5000	2000	1000 2000	$1400 \ 2000 \ 1000 \ 100$	10000
A 氏				
5/1	/15	7/1 /2	10/4 /10 11/1 /2	12/20
5月		7月	10月 11月	
1日	5,000	1日 1,000	4日 1,400 1日 1,000	12月20日 10,000
15日	2,000	2日 2,000	10日 2,000 2日 100	

・購買日付詳細指定を指定した場合は、

指定範囲を 9月1日~11月30日とした場合、4回の購買のみが対象となります。

A氏											
5/1	/15	7 0	7/1 /2	10 日	10	/4 /10	11/1	/2		12,	/20
5月 1日 15日	5,000	7月 1日 2日	1,000	4日	0	1,400	1日 2日	1,000	12	月 20 日	10,000
19 Ц	2,000	2 Ц	2,000	くこの間の購り	て 買の) みが対	2日 す象とな	100 ころ。	→		

この場合の R (recentry:最終来店日)の日数計算は、下記日付からの来店間隔になります。 チェックをつけない場合は 12/20チェックをつけた場合は、 11/2



出力するExcelブック名 各画面にある下記 出力するExcelブック名 部分では、書き出したブック名を指定します。

出力するExcelブック名(フォルダを指定しない場合は C:¥ に作成されます)

F9:参照

b:¥test

参照を押して、保存する場所を選びファイル名を入力し保存を押します。 (ここでいう保存とは、ファイル名を決定する事で、実際にファイルが出来上がるのでありま せん。)

ファイル保存					? ×
保存する場所①:	실 マイ ドキュメント		•	+ 🗈 💣 🎫	
■ 最近使売フイル デスクトッフ デスクトッフ マイトキュメント マイトキュメント マイトスクトワーク	A AGENDA OxberLink Why FolderSync Proj Why Internet Disk Why Projects Why PSP8 Files Pyxis test DestLSPRJ Updater5 ダイア87 アイル マイ PS アイル マイ PS アイル マイ ピンチャ	■マイ ビデオ ≧マイ ミュージック かった。 ● 茶名最人PB2006			
	ファイル名(N): 「 ファイルの種類(T): 「	.CSV)		• •	保存(S) キャンセル

分析結果の利用:分析結果からのDM分析

顧客分析で出力したExcelデータを元に、ダイレクトメールの準備を行います。



F:11新規入力

参照をクリックして、利用するExcelファイルを選択してください。



F12:修正

既に登録されているDM宛先の内容を修正します 尚、分析パックにて設定したデータのみ可能です

修正 分析結果のDM宛先準備	
DM番号 00013	
外部データ(分析結果)の指定	
R:#TFST vla	F9:参照
Dilloring	
- 外部データ(分析結果)の指定で、対象数は変えずに、発送予定/日付メモのみ修正する場合 外部データ(分析結果)の指定は不要です。 発送予定日くエの2本体エオネ(ケ画示。)	·
光达アルロバスモのみを形正する。(八国国へ)	
ESC:処理せず前画面へ	F12:次画面
2008/08/01 17:14	

F12:次画面



上記画面でファイルを指定し「F12:次画面」をクリックすると この画面になります。

発送予定日及びメモの入力 顧客一覧のシートと会員番号の列を指定します。



不備がある場合は左の画面がでます。 表示に従い処理を続行してください。

処理を中止し前の画面に戻ります

OKのものだけで処理を続行する 使用可能なデータのみで準備を行います。

表示されている、エラーログをTXTファイルで出力

発送予定日/メモのみを修正する

Ozsystem Peace v1 (KKRFD102) C	RW-STA id = test	((景守可)	
(1)修正	Ĝ.	↑析結果のDM宛先準備	
DM番号 00115			
基本情報 	在10日11日		
9825726 2000	403/1040		
Xt			
最終印刷情報			
最終印刷日時		最終印刷件数	
RSC·加理社常前面面へ			F12·经定会了
2008/09/13 1514			T ROTECTED T

修正画面の「発送予定日/メモのみを修正する」 をクリックすると、この画面になります

発送予定日とメモの内容を修正します。 修正画面で「発送予定日/メモのみを修正する」 をクリック するとこの画面になります。

発送予定日及びメモについては ピースマニュアルを参照してください。

分析結果の利用:分析結果からのメール準備

顧客分析で出力したExcelデータを元に、Eメールの準備を行います。



F11:新規入力

参照をクリックして、利用するExcelファイルを選択してください。

〕修正	分析結果のメール宛先準備	
ペール番号 0000123 外部データ(分析結果)の指		
	- <u>-</u> -	F9:参照
B:¥TEST.xls		

ファイルの場所の:	🧊 🛛 ーカル ディスク (E)		• +	🗈 💣 🎫	
展歴 デスクトップ デスクトップ アイトキュメント マイ コンピュータ	rpcs CanonFineTech Config.Msi Documents and Setting Downloaded Driver FOUND.000 Hangame My Music Program Files	C Témp WINNT			
1 JOCA /	ファイル名(W): ファイルの種類(D): (#XL	S)		•	間((()) キャンセル

追追加	分析結果のメール宛	先準備	7°9)%-出力: FIL
メール番号 自動発電	されます 設定売7時点で発動	ます。発番した番号は前側面のメート	レ番号に設定されます。
基本情報			
送信予定日 2008年(9月13日		
見出し新メニ	1		
本文			e
編集			
			-
設定情報(各シートの1行	目はタイトル行と想定)		
設定情報(各シートの1行 G#デシル.xk	目はタイトル行と想定)	en 151 af Mitcheland hat we defende	
設定情報(各シートの1行 G#デシル.xk シート名 一覧をクリックし 挿中2条件	目はタイトル行と想定) 「指定 データ数 98 会員番号 「店業	の列名 一覧をクリックして指定	
設定情報(名シートの1行 G#デシル de シート名 一覧をクリックし 抽出条件 デシル値	目はタイトル行と想定) に指定 データ数 98 会員番号 店番 機番	の列名 一覧をクリックして指定	4
設定情報(名シートの1行 G#デシル.ck シート名 一覧をクリックし 抽出条件 デシル値 デシル通客一覧	目はタイトル行と想定) 「指定 データ数 98 会員番号 店番 機番 学会社番 学会社番	の列名 一覧をクリックして指定	
設定情報(各シートの1行 G#デシルas シート名 一覧をクリックし 抽出条件 デシル値 デシル顕容一覧	目はタイトル行と想定) 「指定 データ数 98 会員番号 携帯 機番 会員番号 構造 会員番号 大部 会員番号 の 合番 一 の 会員番号 一 の の の の の の の の の の の の の	の列名 一覧をクリックして指定	
設定情報(名シートの1行 G#デシル.28 シート名 一覧をクリックし 抽出条件 デシル値 デシル通答一覧	目はタイトル行と想定) (指定 データ数 98 会員登号 「指定 データ数 98 合員登号 学員登号 学員登号 第二日 第二日 学員登号 第二日 学員登号 学員 学員 学員 学員 学員 学員 学員 学員 学員 学員	の列名 一覧をフリックして指定 3 1 1	
設定情報(各シートの1行 G#デシル200 シート名 一覧をクリックし 抽出条件 デシル値 デシル 顔客一覧	日はタイトル行と想定) (指定 データ数 98 会員量号 構業 デクスル 単一 料理 利用 同会 単一 料理 利用 単一 単一 一 本 二 二 本 二 二 本 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二	の列名 一覧をクリックして指定 3 1日 1日 1日 1日 1日 1日 1日 1日 1日 1日 20 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50	
設定情報(各シートの1行 G#テシル 28 シート名 一覧をクリックし 捕田菜件 デシル値 デシル 艇客一覧	目はタイトハ行と感定) こ 指定 データ数 98	の列名 一覧をクリックして指定 新 日 時分 秒	
設定情報(各シートの1行 G#デシル:ぬ シート名 一覧を切っかし 捕出気件 デシル(値 デシル)(顔客一覧)	目はタイトル行と認定) (指定 データ数 98 空眉電号 構造 データ数 98 空眉電号 構造 構造 構成 構成 の に構成 の の の の の の の の の の の の の	の列名 一覧をクリックして指定 領 行 行 時分秒 質 額 該 広 占 日	
設定情報(各シートの1名 G#デシル・20 シート名 一覧をりりックし 増出表件 デジルの道察一覧	目はタイトハ行と感定) 5 賞誉 受 データ数 98 (注意 データ数 98) (注意 (活著 代表) 第 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	の列名 一覧をカリックして指定 日 明分 で	
設定情報(各シートの1名 GF号5.no.2) シート名 一覧をりゅうし 用出来件 デジル値 デジル値 デジル値 デジル値 キャンパの時期の	目はタイトハ行と聴定) に指定 データ数 98 会員要号 「株準 デクスペーク の の の の の の の の の の の の の	の列名 一覧をクリックして指定	×
超度情報(各シートの1名 GFF3ル22 FF-名 一変をりックし 指出条件 デジル確定 デジル報告一覧 最終送信情報 長約送信情報	目はなイルバ行と聴定) 「着定 デーク数 38 空音響音 構造 一般音 一般音 一般音 一般音 一般音 一般音 一般音 一般音	の別名 一覧をクリックして指定 第 1 日 時分秒 雪賀調 次時分秒 海路 5 5 5 5 1 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	4
設定情報(各シートの1名 GFFのルボ シート名 一覧をクリックレ 市田三条件 デシル値 デシル値 デシル通客一覧	目はタイルパジと聴定) に施定 データ数 98 会員要号 「活躍」 構造 一般日間 の 一般日間 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	の列名 一覧をカリックして 指定	×

上記画面で「F12:次画面」をクリックすると この画面になります。

送信予定日・見出し・本文の入力と 顧客一覧のシートと会員番号の列を指定します。

送信予定日・見出し・本文については、 ピースのマニュアルを参照

stem Peace v1(KKRFKAIE) CR(エラーが検出されました。処理を選択してください 会員番号が未登録エラーのものは、 98 98(4 会員番号が登録済みでOKのものは、 - Of# 下記に表示されているログ内容をファイルとして取り出す事ができます。 取り出し後は、拡張子TXT に関連付けされているプログラムを起動し、表示します。 保存等は起動されたプログラムで行ってください。 ンログラムで行ってくだ。 こののうちに、 こののうち、 こののう こののう こののうち、 こののうち、 こののう こののう こののの この 処理を中 止する OKのも のだけで いたけで 処理を続 行する 取り出し

お客様情報に未登録

参照したシート及び列に 不備がある場合は左の画面がでます。 表示に従い処理を続行してください。

処理を中止する 処理を中止し前の画面に戻ります

OKのものだけで処理を続行する 使用可能なデータのみで準備を行います。

取り出し実行 表示されているエラーログを TXTファイルで出力します。

F12:修正

既に登録されているメール宛先の内容を修正します。 尚、分析パックにて設定したデータのみ可能です

Ozsystem Peace v1 (KKRFL)	0A) CRW-STA id = te	st (保守可)		
11 修正	3	分析結果のメール第	宛先準備	
メール番号 001	1			
- 外部データ(分析	結果)の指定―――			F9:参照
詳デシル.xls				
- 外部データ(分析 外部データ(分析	結果)の指定で、対象 所結果)の指定は不要	見数は変えずに、送信 です。	予定日/見出し/本文の)み修正する場合
送信予定日/	見出し/本文のみを修	ぎ正する。(次画面へ)		
RSC·加理社术前面	研会			F12-次面面
2008/09/13 16:	12			1.12.1人回旧

F12:次画面

且 追加	分析結果のメール宛先準備	7 ⁵ 92年出力9 FIL
メール番号 自動発番される	ます 設定売了時点で発動します。発動した番号は前面面の	のメール番号に設定されます。
送信予定日 2008年09月13	3H •	
見出し新メニュー		
本文		-
- 編集		
		×
-設定情報(各シートの1行目はタ	イトル行と想定)	
L LANDERT COLLARY		
シート名 一覧をクリックして指定	データ数 98 会員番号の列名 一覧をクリックして	指定
シート名 一覧をクリックして指定 抽出条件 デシル値	データ数 98 会員番号の列名 一覧をクリックして 店舗 機能	指定
 Carton Lar シット名 一覧をクリックして指定 抽出条件 デシル値 デシル値容一覧 	データ数 98 全員番号の列名 一覧をかりっかして 店舗 株舗 会員面積 デジル値	指定
いようりに加 シート名 一覧をクリックして指定 抽出条件 デシル値 デジル値客一覧	データ数 98 全員着与の列名 一覧をクリックして 活番 機構 学びた 学びた 情 学びた 情 学びた 情 学	指定
いよううい 202 シート名 一覧をクリックして指定 抽出条件 デジル値 デジル 前幹一覧	データ数 98 会員番号の列名 一覧をグリックして 信音 機能 デンル値 や計算論 利用回数 朝鮮(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	指定
CHYPYLLE シート名 一覧を力しつして指定 抽出条件 デジル植 デジル植等一覧	データ数 98 全員番号の利名 一覧をかりゅうして 店舗 装置 第二番号 アクルド の外に開い 素が開きた 調修 天花日 最終天だ日子 最終天だ日子 最終天だ日子 の 長年前買加	指定
54マンル・28 シート名 - 気をクリックして指定 抽出条件 プランル値 - 5	データ数 98 全員業务の利名 一覧をかいったに 構築 学校工作日 最終実活日 最終実活日の後 現代社習質調 日本部であり 日本語であり 日本部であり 日本語でありま 日本語であり 日本語であり 日本語であり 日本語であり 日本語であり 日本語であり 日本語でありま 日本語であり 日本語であり 日本語であり 日本語であり 日本語であり 日本語でありまする 日本語でありま 日本語でありま 日本語でありま 日本語での 日本語でありま 日本語でありま 日本語での 日本語	指定
(スインルム) 単数とグリックして指定 描述条件 学ジルは デジルは デジルは デジルは デジータ	ケータ第 98 の具要性の形式の一致なりいったという に対していた。 の実施していた。 の実施した。 の実施した。 の実施した。 の実施した。 の実施した。 の実施した。 の実施した。 の実施した。 の実施した。 の実施した。 の実施した。 の実施した。 の実施した。 の実施した。 の実施した。 のまた。 のまた。 のまた。 のまた。 のまた。 のまた。 のまた。 のま	推定
3 また。一変を2019クレマ指定 用は2条件 クリンド値 を認め通道を一当 高校5米(会)情報(データ数 98 全員事号の列名。一覧なりルッルで 第二章 第二章 第二章 第二章 デンパ目 第二章 デンパ目 第二章 デンパ目 第二章 デンパ目 第二章 デンパ目 第二章 第二章 第二章 デンパ目 第二章 第二章 第二章	<u>推定</u>
 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ケータ第 98 の具要単の対応 一覧なりいったて 同意 明確 時間 の目的 の目的 の目的 の目的 の目的 の目的 の目的 の目的 の目的 の目的	<u>推定</u>

エラーが検出されました。処理を選択してくださ 会員番号が未登録エラーのものは、 91 会員番号が登録済みでOKのものは、

2行日

15行目 16行目 18行目 20行目 21行行目 22行行 23行 ○各様情報
○各様情報
○各様情報
○各様情報
○各様情報
○お客様情報
○お客様情報
○お客様情報

処理を中 止する

OKのも のだけで 処理を続 行する

取り出し 実行 下記に表示されているログ内容をファイルとして取り出す事ができます。 取り出し後は、拡張子TXT に関連付けされているプログラムを起動し、表示します。 保存等は起動されたプログラムで行ってください。

98(4

上記画面でファイルを指定し「F12」をクリックするとこの画面になります。

送信予定日・見出し・本文の入力と 顧客一覧のシートと会員番号の列を指定します。

送信予定日・見出し・本文については、 ピースのマニュアルを参照

> 参照したシート及び列に不備がある場合は 左の画面がでます。 表示に従い処理を続行してください。

処理を中止する 処理を中止し前の画面に戻ります

OKのものだけで処理を続行する 使用可能なデータのみで準備を行います。

■ ■ ■ ■ ■ またこれている、エラーログをTXTファイルで出力します。

送信予定日/見出し/本文のみを修正する

印修正	分析結果のメール宛先準備	
メール番号 () 基本情報	10111	
送信予定日	2008年09月13日 •	
見出し	テスト	
本文編集	721	4
		×
最終送信情報	ž	
最終送信日	時最終送信件数	
ESC:処理せず前	行画面へ F1	2:設定完了

修正画面の「送信予定日/見出し/本文のみ」を修正する をクリックすると、この画面になります

送信予定日・見出し・本道のみを修正します。

送信予定日・見出し・本文については、 ピースのマニュアルを参照





- ①分析パックパック最新版の取込 別紙「ピースV1用分析パックパック セットアップガイド」を参照してください。
 注意:ピース本体の「最新版の取込」とは別処理です。
 分析パックパックは、必ず 分析パックパック最新版の取込 にて行ってください。
- ②操作マニュアルの表示

この操作マニュアルを表示します。 操作マニュアルの表示には『Adobe Acrobat Reader(アドビ アクロバット リーダー)』が必要です。

- ③分析パックパックの出力見本 別紙「ピースV1 分析パックパック 出力見本」の内容のExcelブックを表示し亜Mす。
- ④ピース分析パックパックについて バージョン等を表示します。